

公表:令和4年3月31日

事業所名 放課後等デイサービスこんぱす

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	1		・小集団で活動可能なスペースを設けている。	今後も必要に応じて設備の検討や活動場所の細分化が必要と考えています。
	②	職員の配置数は適切であるか	6			当日の利用に応じて柔軟な職員配置を意識している。	利用定員に対して、基準を満たした職員数の配置をしています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6			・手すりの設置など必要な設備を適宜設置している。 ・手すりなど配慮している。	ご利用前の、見学時や契約時に施設設備に対してご説明を行っています。バリアフリー化は困難ですが、必要に応じて手すり等の設置を検討します。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6			・月、週単位で話し合いを設けている。	日々の打合せにて、利用児童の様子や支援に対する改善点等について話し合いを行います。又、状況に合わせて短期的な会議を行ないます。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6			・アンケートを受けて職員会議等で検討し、改善策を考えている。	今後もアンケートの実施を行うと共に、面談時などに保護者の意向や希望を確認していきます。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6			・ホームページで公開している。	今後もアンケート実施後等にHPに掲載していきます。又、毎月発行している「お便り」でも掲載していきます。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	1	1	・今後検討中。	専門知識のある職員によるコンサルティングを受け業務の改善に努めていきます。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			・各職員の専門性を活かせるような研修を設けている。	今後も計画に定めた研修を実施していきます。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			・職員全体で検討、分析したうえで計画を作成している。	保護者や他関係機関との情報共有を図りながら計画書の作成を行っています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6			・Vineland2など標準化されたツールを用いている。	vineland2だけではなく、他のツールを用いたアセスメントを検討していきます。又、他の機関の検査結果等を共有市支援の参考にさせていただきます。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6			・できる限り各職員の意見を統合してプログラム主宰を行っている。	個別・集団活動共に支援会議等にて企画していきます。

	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	1		・プログラム時の利用者の様子や変化を配慮したうえで変更や新しいプログラムを考えている。	定期的に行う活動はありません。活動内容についてはご利用児童の意見や希望を確認しながら企画していきます。又、児童の年齢や状況に応じたプログラム活動を立案していきます。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6			・各利用者に適した目的設定を行っている。	個別活動や集団プログラムの他に状況や特性に合わせて課題設定を行っています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			・家庭や学校の状況を考慮したうえで計画を立てている。	本人、保護者の意向や希望をくみ取りながら計画書を作成していきます。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			・ホワイトボード等を利用して共有している。	全職員が共通の認識の持ちながら支援の実施ができるように引継ぎなどを行っています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	1		・打合せの他に、職員同士で気かねなく今日気付いた、気になった点について話し合える環境である。	職員間で情報共有を図りながら、より良い支援の提供を目指していきます。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			・できるだけ細かく記録はとっている。	記録するだけでなく、職員間で問題や課題に対する検証や改善を行えるように会議などの場を設けていきます。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6			・半年に一度は必ず行っている。	計画作成や見直しについて定期的な会議を設定します。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	6			・ガイドラインの確認は行っている。	ガイドラインの読み合わせや基本活動に対する共通認識の徹底を行います。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6			・参加している。	管理者や児童発達支援管理責任者以外にも担当にふさわしい職員が参加しています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6			・送迎時などに情報共有を行っている。	必要に応じて今後も地域連携を踏まえた情報共有を図っていきます。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	4		・検討中。 ・その子によっては親からの行状について聞いているためどちらともいえない。（一部は連携が取れているが・・・）	学校の担任や各関係機関との連絡体制を整えています。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	1		・必要な際は情報交換を行っている。	主に相談担当者との情報共有を図っています。不明な点については事業所から連絡をしています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	1		・情報の提供を行っている。	今後、情報共有を含めた連携に努めていきます。

	②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6			・研修には参加している。	今後、情報共有を含めた連携に努めていきます。
	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	3	2	・検討中。 ・コロナの関係もあり、難しい。	地域での行事に参加するなど、交流機会を検討していきます。
	②⑦	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	6			・わかりません	今後、協議会への参加を行います。
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			・送迎時等、対面にてその日の様子や学校からの情報を伝え、家庭の状況、様子などを可能であれば伺っている。	送迎時のみならずHP受診後の結果や学校面談での様子などについて確認していきます。
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	1		・利用者の特性を考慮した家での過ごし方の助言等を必要に応じて行っている。 ・ペアトレではないが、その都度必要な助言を行っている。	必要に応じて対応については提案やアドバイスを行っています。
保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			・わかりません ・支援内容の説明は行っている。	契約時などにご説明を行っていますが、不明点などがある際は再度ご説明していきます。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			・電話、メッセージ、対面等、様々な形で相談に応じている。	適切な提案やアドバイスが行えるように各職員共に情報共有を図りながら対応していきます。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	1	1		感染症が終息後、定期的な保護者会を企画していきます。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			・苦情等があった時、その都度話し合いを行い、体制を見直している。	各マニュアルを作成しています。対応などについては毎年職員と読み合わせを行い確認しています。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			・平常時、月一回お知らせを保護者向けに配布している。	「お便り」は毎月発行していきます。又、随時「お知らせ」を配布していきます。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	6			・鍵付きの書庫等を利用している。	個人情報保護法に沿った対応を今後も継続して行います。
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			・連絡票の活用や必要に応じて面談の機会を設けています。	特性に合わせた支援方法についての検討を行っています。視覚、聴覚支援についても研修を行う等、支援の質の向上に向けた取り組みを行います。又、保護者との意思疎通や情報伝達に関しては、送迎時や連絡帳を活用・面談の機会を設けるなどの対応を行っていきます。

	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	1		・わかりません。 ・こんぱす祭りなど地域を巻き込んだ活動を行っている。	地域交流を目的とした行事の企画を行います。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6			・保護者にはマニュアルの説明が不十分。	マニュアルに関しては随時見直しや検討を行います。又、継続して定期的な研修や読み合わせを行い、各職員に周知徹底をしていきます。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			・年に2回行っている。	事業所計画に沿って避難訓練を行っています。又、災害時の対策についての活動を行っています。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			・研修の参加を行っている。	虐待防止に関する研修を事業所内のみならず事業所外研修への積極的な参加をしていきます。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6			・契約時に説明している。	契約時に身体拘束(やむを得ない状況の際の対応)についての説明を行っています。又、運営規程等での記載をしています。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	2		・現在は対象者がいない。	契約時に確認、面談時に再確認するなどの対応は行っています。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			・年に2回研修機会を設け、事例を検討している。	安全委員会の開催を定期的に行い、再発防止についての確認をしています。

◎ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。